

【表紙】

蜂の一生 全一卷

【表紙 裏】

【1頁】

(十六ミリ)

蜂の一生

全一卷 一一七米

台湾総督府

N第二五五〇号

検閲済

有効期間

自昭和十五年十二月七日

至昭和十八年十二月六日

活動写真「フィルム」検閲

規則第十条第二項ニ依リ

手数料ヲ免除ス

障害ナシ

【2頁】

【3頁】

蜂の一生

梗概

小学校理科書第四学年用第十二課「はち」に拠り毒劔を

有し自体の保護をなし且つ固体生活を好んでなし巧妙なる

巢を造りて種族の繁栄を計るあしなが蜂をとり昆虫として

の形態習性及び其の発生等を学ばせ、蜂について□らに憎悪

の念を起さしめず、寧ろ興味多き昆虫なることの心情を起

させることを主眼としてある。

本映画の特異点としては造巢の実状大写鱗翅類の幼

虫を□球として啗へて帰り、幼虫に興へるところ等は実験、観

察上から見ても亦自立研究からしても重要な画面である

【4頁】

字幕

- 1、十六ミリ映画教育普及会製作
- 2、蜂の一生
- 3、桜もちつてレンゲサウが咲く頃（スーパーインポーズ）
- 4、長い冬の眠からさめた一匹のメバチは
- 5、密をなめてからだを養ひ
- 6、巣は古い木の細かいすちを自分のツバで
- 7、巣が出来上がることの中に一個づくの卵をうむ
- 8、卵は二十日程たつと幼虫にかへる
- 9、幼虫の食物一毛のないイモ虫を親蜂がかみ砕き肉ダンゴにして。

【5頁】

- 10、密や花粉も食物になる
- 11、幼虫は口から白い糸を出し室の入口をふさぎ中でサナギになる
- 12、かへつた若蜂は親蜂の手伝をして
- 13、夏の暑い日には水を運んだり羽であおいだりして巣を涼しくする
- 14、秋の頃には二三十足の一家族になる
- 15、かうして冬も近づくと
- 16、完

【データ採録者：田島奈保】 【校正：森田健嗣】